

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2616
	基本事業	確かな学力の育成		事業実施主体	市
	事務事業	児童生徒副読本支給事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	学校教育における補助教材としての副読本を支給し、保護者負担の軽減と教育効果の向上に努める。				
29年度概要	児童副読本の購入 ・体育（わたしたちの体育、1～6年生） ・道徳（なかよし、1・2年生）（ともに生きる、3・4年生） （わたしのいく道、5・6年生） ・社会（高松の今と昔、3・4年生）				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


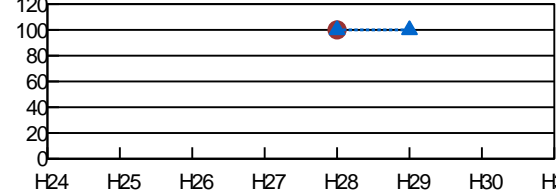
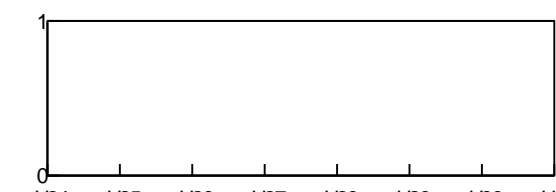
【事業の目的】

対象（何を）	市内小・中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	学校での社会科の指導や道徳の時間などに活用し、教育の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
児童生徒副読本購入冊数	冊			66,301	69,108	69,108

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	児童生徒副読本配布率	%	目標値			100	100	100
			実績値			100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られ、目標どおり達成できた。 							(達成度) 100.0%
								35点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	39,260	39,347	39,256	39,197
（事業費）	[円]	35,569	35,508	35,330	35,271
（職員人件費）	[円]	3,691	3,839	3,926	3,926

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 市が設置する小中学校で教育上必要であり、本事業の実施により教育の充実が図られた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 授業への活用について、より一層の活用を促していく。			